

教育文化活動とは

JAの事業と事業、事業と活動、組合員(組合員次世代)とその家族・地域住民を結びつけ、新たな関係を築く活動

= アクティブ・メンバーシップの確立
をめざす活動



教育文化活動の4つの領域

教育文化活動

教育・学習活動

JA運動についての理解を深め、JA運動を発展させるための基礎的活動（組合員教育、役職員教育、次世代・女性組織・青年組織などへの協同組合学習など）

組合員大学・女性大学の開講や、JA役職員研修会の実施など

情報・広報活動

組合員・地域住民にJAの事業・活動を広く知らせるとともに、求める情報を提供し、JAファンを増やし、JA・農業への理解を深める活動

JA広報誌、支店だよりの発行、JAホームページ、家の光三誌など

生活文化活動

組合員や地域住民の願いや期待を実現し、JAファンを増やす活動
食と農を活動の機軸として、組合員のみならず、地域住民のニーズに応える活動

食農教育、健康管理・高齢者福祉、生活技術の習得、趣味、生きがいのづくり、子どもたちの育成（あぐりスクールやちゃぐりんフェスタ）、地域の環境を守る活動、男性の料理教室など

組合員組織の 育成活動

JAの最大の強みである組合員組織の育成と自主・自律的な組織づくりのための活動

女性部、フレッシュミズ、青年部、目的別組織、子ども、元気高齢者、Aコープ利用者の会、地域住民などの活動支援と参加促進

教育文化活動 = 組合員や地域住民を元気にする活動

JA事業・活動に果たす

教育文化活動の今日的役割

- ① **JAの事業と事業、事業と活動** を結ぶ 横糸の役割
(総合JAの強みの発揮)
- ② **JAと組合員(家族)、地域住民** を結ぶ 横糸の役割
(JAファンづくり)
- ③ **組合員次世代や地域住民の「居場所」** を提供する役割 (JAファンづくり)
- ④ **JAの「社会的存在価値」** を高める役割
(JAの社会貢献)

教育文化活動をつうじて

「共感」をはぐくみ、「感動」へ

さまざまな意識の組合員に対して、教育文化活動の取り組みをつうじ、JA事業へ
認知 ⇒ **利用** ⇒ **参加**
⇒ **参画** へと導き、「アクティブ・メンバーシップ」の確立をめざす。

教育文化活動をつうじて、組合員の「**共感**」をはぐくみ、「**感動**」へつなげていく。

